

8 自殺未遂の状況

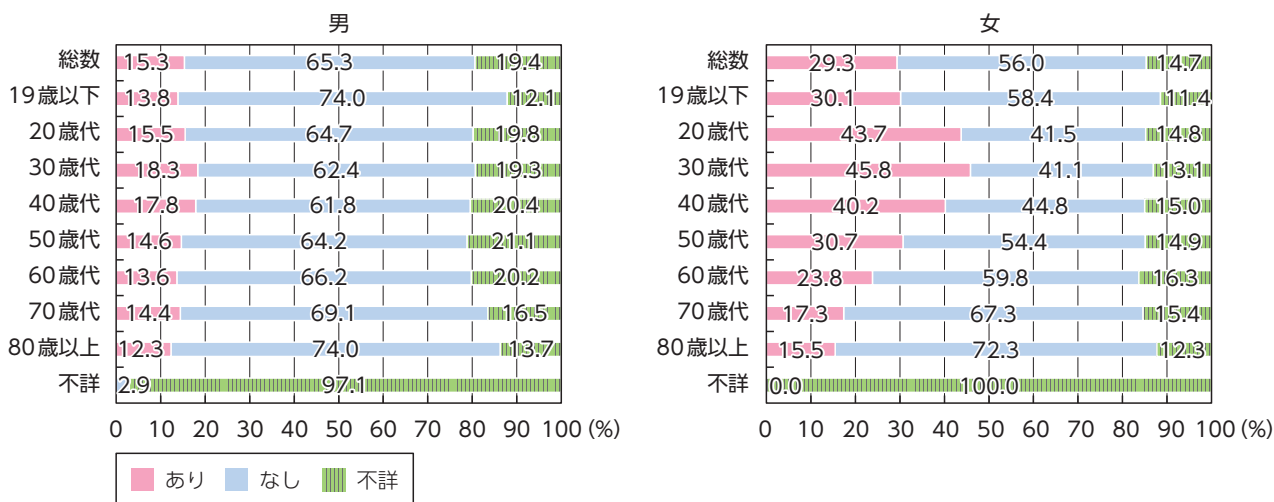
平成28年における自殺者の自殺未遂歴の有無について、自殺統計によれば（第1-35図）、全ての年齢階級で、自殺未遂歴が「あり」の者の割合は、女性が多くなっている。特に、女性の20歳代から40歳代において、40%以上の者で自殺未遂歴が「あり」となっている。また、男女別にみると、自殺未遂歴が「あり」の者の割合について男女とも30歳代が多い。

次に、消防庁の「救急・救助の現況」によれば（第1-36図）、自損行為による救急自動

車の出動件数及び搬送人員は共に増加傾向にあったが、近年では減少が続いている。平成27年における自損行為の状況については、救急自動車の出動件数は5万6,891件であり、前年に比べ3,245件（5.4%）減少している。

搬送人員は3万8,425人であり、前年に比べ2,317人（5.7%）減少している。また、搬送人員総数に占める自損行為の搬送人員の比率は、ほぼ横ばいで推移しており、平成27年は0.7%となっている。

第1-35図 平成28年における自殺未遂歴の有無別自殺者数の割合



資料：警察庁「自殺統計」より厚生労働省自殺対策推進室作成

第1-36図 自損行為による救急自動車の出動件数及び搬送人数の推移

